

いにしえのピアノ 来歴

[製造番号 11013]スタインウェイ&サンズ社製スタイル1 グランドピアノ
—スタインウェイ&サンズ社製のグランドピアノとしては国内最古—

1865 年（慶応元年） ニューヨークで製造される。（7 月 25 日完成）

※ [日本]天狗党の乱が旧暦 2 月ごろまでに収束/[アメリカ]4 月に南北戦争終結

- ・製造から 6 年間の記録なし

1871 年（明治 4 年） ハーパー夫人が購入し、横浜に送られる。

- ・ハーパー夫人及びその後の詳細は不明だが、後に水海道小学校へこのピアノを販売した楽器店社長は「確か外国の外交官が使っていて、日本を去るときに手放したものを売りしたと思うんですが」と新聞取材に答えている。

1932 年（昭和 7 年） 水海道小学校が購入

- ・「金の鈴合唱団」の結成など、水海道小学校の音楽教育は大きな発展をみせた。
- ・戦後も、水海道小学校は数々の音楽コンクールで優秀な成績を収めた。
- ・昭和 34 年、新しいピアノが購入された一方、スタインウェイは要修理の状態であり、あまり活用されない状況であった様子。

1974 年（昭和 49 年） ピアノの価値が判明

- ・体育館の竣工に伴いもう 1 台ピアノが必要となり、修理のため松尾楽器商会にスタインウェイの調査を依頼。皇居にあるスタインウェイ&サンズ社のピアノ（明治 28 年ドイツ皇帝からの寄贈、製造番号 62058）よりも古いことが判明し、マスコミも注目。
- ・9 月 4 日、読売新聞の全国版で紹介。10 月 3 日に NHK でピアノの来歴が放映。
- ・水海道小学校では、市長や市教育委員会等と修復や保存について協議・検討。

1975 年（昭和 50 年） 歴史館へ

- ・1 月 30 日、茨城県立歴史館に寄贈される。翌年、旧水海道小学校本館にて展示開始。

1990 年（平成 2 年） 修復へ

- ・音の復活をめざし、松尾楽器商会で修復作業開始。

1992 年（平成 4 年） 復活

- ・「1865 年スタインウェイ・ピアノ修復記念茨城県立歴史館ミュージアムコンサート」を講堂にて開催。

—保存と活用を両立し、現在に至る—